

令和8年7月29日

令和8年熊本地震におけるエコノミークラス症候群についてのご注意と啓発の

お願い

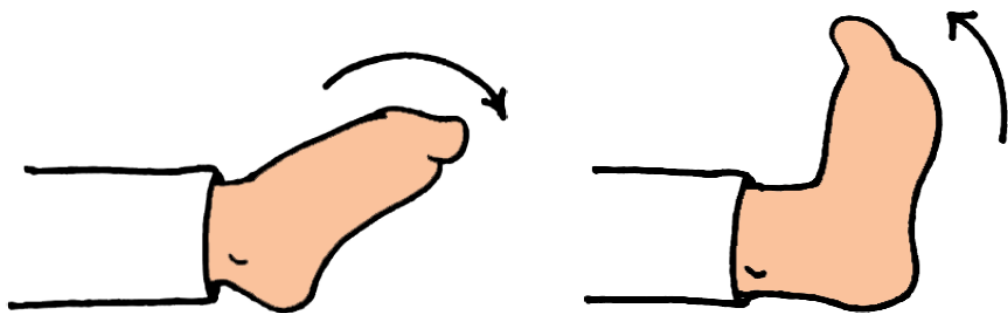
令和8年7月28日の令和8年熊本地震にて被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私たちは、循環器・血管疾患の予防・治療に関わっている学会で、静脈血栓症・肺血栓症、いわゆるエコノミークラス症候群の予防・治療に深く関わっております。今回のような大災害にあたっては、多数の方が避難所で生活するかあるいは車中泊を余儀なくされていると思います。このような環境の中ではエコノミークラス症候群(足の静脈に血の塊ができて肺の血管に飛んで急に息ができなくなってしまう病気、肺血栓症と深部静脈血栓症)の危険性が高まってしまいます。今回の災害では、大変暑い時期に狭い避難所や自家用車の中で寝泊まりされておられる方も少なくないかと思います。このような避難所、車中泊などの被災者は、過去の中越震災、東日本大震災、熊本震災などの災害でも数多くおられ、ときにエコノミークラス症候群を引き起こしました。

循環器疾患を扱う団体としては、何とかこの疾患による予防できる死亡を減らしたいと考えます。現在まで静脈血栓症・肺血栓症の予防の重要性を、学会や保健衛生活動を通して啓発してきました。静脈血栓症は、足を動かさないこと、脱水、足のケガなどで起こる危険性が高くなります。皆様におかれましては、止むを得ず車中泊をされる場合や避難所の中で運動などがままならない場合も多い被災者の方々にエコノミークラス症候群の予防への関心を深めていただきたいと思います。エコノミークラス症候群を予防に重要なことは

①足を動かす

(ア) 足首を曲げ伸ばしして上下に動かす運動をする



(イ) 歩行する

(ウ) 長時間自動車のシートに座った姿勢で眠らない

(エ) ふくらはぎのマッサージをする

②水分を十分にとる

ことです、どうか動きにくい環境に避難されている方々に新聞、テレビ、ラジオ、ネットなどの報道を通して広報していただくと、被災者の方々のエコノミークラス症候群の発症リスクも熊本震災で示されたように減少するかとおもいます（図添付）。

詳しい情報は、日本静脈学会災害対策サイト – 日本静脈学会の災害対策専門サイトです (js-phlebology.jp) <https://js-phlebology.jp/disaster/> にもあります。



一般向け



医療関係者向け

＊さらにもともと危険の高い人は弾性ストッキング・包帯を上手に使用することで、エコノミークラス症候群の予防効果は高まると思われます。日本静脈学会では備蓄を行っており提供が可能です。

・日本赤十字社熊本健康管理センターホームページ (<https://www.kenkan.gr.jp/event/earth.html>) では動画での巻き方指導が掲載されています。

・日本静脈学会ではメールでのご相談を受け付けています (office@js-phlebology.jp)。

日本静脈学会、肺塞栓症研究会、日本血管外科学会、日本臨床衛生検査技師会

(参加順)

問い合わせ先：

日本静脈学会事務局

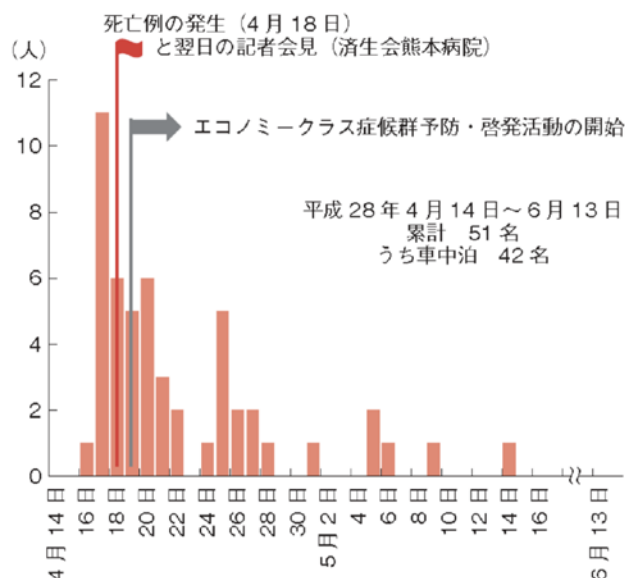
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28

飯田橋ハイタウン 829

TEL：03-5946-8362 FAX：03-5946-8363

E-mail：office@js-phlebology.jp

熊本震災におけるVTE: 早期の啓発が大切



- 重症PE例は発災後5日後のESの本格的な配布が始まる前
- 配布するのならより早期: 備蓄以外は方法がない
- 今回の経過からはPE発症後のマスコミ、KEEP、榛沢医師などによる啓発活動がVTE予防に最も効果的であった可能性が高い。

図2 入院を必要としたエコノミークラス症候群発症数
(H28/4/14～6/13 KEEP Project および熊本県まとめ)

熊本地震とエコノミークラス症候群予防・啓発活動

2016(H28)熊本地震

KEEP project

地域医療機関

支援団体・個人

(eg.学会;循環器系関連学会、日本臨床衛生検査技師会、日本脳卒中協会)

行政 (厚労省、県、市)

マスメディア

the Quaternity

四位一体



熊本県医療救護調整本部
厚生労働省現地对策本部
熊本県健康局健康づくり推進課



「熊本地震から学んだこと、伝えたいこと」

2017 4/22(土)・23(日)
熊本県民交流館/レリア 熊本県民交流館新館 6F
2,000円 (前売) / 1,000円 (当日) (税別)
学費 無料

熊本 誠治 九州産業大学 看護学部長 教授
熊本 誠治 九州産業大学 看護学部長 教授
熊本 誠治 九州産業大学 看護学部長 教授

主催 熊本県健康局健康づくり推進課
協賛 熊本県民交流館/レリア 熊本県民交流館新館 6F
後援 熊本県健康局健康づくり推進課 熊本県民交流館/レリア 熊本県民交流館新館 6F

- ①エコノミークラス症候群の予防・啓発
- ②現状把握 (サーベイランス)
- ③将来的な建設的提言

ホームページ: keep2017.umin.jp/index.html